

親子で読みたい「ねずみ」と「十二支」の本



「ネズミの生活」
サンパール／ほか著



「十二支動物のコミック」
大高成元／ほか著



「十二支のはじまり」
「十二支まるわかり」
荒井良二／文
やまぢかずひろ／文
荒井良二／絵

世界のおよそ 4800 種いるほ乳類のうち、1336 種ほどをしめるネズミ。ドブネズミ、ハツカネズミなど、私たちの身近にいて、ネズミの中でもいちばんかっこいい「家ネズミ」の仲間を、楽しいイラストとともにいきいきと描く。

絵を描いているサンパール氏は、カナダで風刺画や子ども向け小説のさし絵などを手がける作家・アーティスト。2004 年カナダ総督賞を受賞。

ネズミ年、ウシ年、トラ年…。あなたは何年生まれかな？十二支の動物は、私たちの身近な動物ばかり。でも、意外と「ひみつ」があるんだ。かわいい写真と楽しいイラストで、12ひきの動物と仲よくなってください。

作者の大高氏は1939年生まれ。東京動物園協会勤務を経て、大高動物写真事務所を設立。現在フリーの写真家として活躍中。

お正月には何をしよう、誰か遊びに来ないかな。12月のある日、神様は家で考えていました。すると、いいことを思いつきました…。十二支に出てくる動物の種類と順番が楽しい物語とゆかいな絵でよくわかる絵本。

絵を描いた荒井氏は、日本を代表する絵本作家。アストリッド・リング・ドレーン記念文学賞等を受賞する。

1月の催しもの

とき		催しもの
5日(土)	11:00～	カルタとり大会
13日(日)	11:00～ 14:00～	子どもビデオ劇場
19日(土)	10:00～ 16:00	冬のチャリティ古本市
20日(日)	10:00～ 16:00	冬のチャリティ古本市
10,17,24, 31日(木)	10:00～ 12:30	あかちゃんクラブ ラッコルーム
毎週土曜日	14:00～	「おはなし」と 「あそび」の広場

その他のねずみと十二支の本

- ◆「十二支のことわざえほん」 高島純／作
- ◆「十二支のお節料理」 川端誠／作
- ◆「紙ワザ工房 3 -動物たちと十二支-」 菊地清／著
- ◆「ネズミのよめいり
～十二支むかしむかしシリーズ 子～」
谷真介／文 赤坂三好／絵
- ◆「ねずみくんおおきくなったらなにになる」
{ねずみくんの絵本24}
なかえよしを／作 上野紀子／絵
- ◆「まちのねずみといなかのねずみ」
イソップ／原作 いもとようこ／文・絵
- ◆「森のネズミのさがしもの」
岡野薫子／作 上條滝子／絵

俳句

「初鵜」
ふそう俳句会

初鵜電線に見る良き日かな
石庭の波に万両べにの風
初東風や声やはらかき街の角
川口 美雪
北村 和子
沢田扶左を

川柳

扶桑川柳クラブ

割り勘で主婦の宴は真つ盛り
絵手紙の可愛いハート元気でね
カレンダー元気で続くスケジュール
尾関ときよ
大西 陽子
浅野 妙子

短歌

「地震に備ふ」
ふそう短歌会

初春に集ふ音よりもひそやかに
地震に備ふとラジオ鳴りおり
初釜の床に活けたる白玉椿
朝の雲清しく宿る
墨の香にこころ安らぐ元朝を
わが歌一つ色紙に散らす
和 悦子
高木 和子
小野寺紀美代

詩吟

「雪梅」
方岳

梅有り雪無ければ精神ならず
雪有り詩無ければ人を俗了す
薄暮詩成つて天又雪ふる
梅と併せ作す十分の春

「意」 梅には雪があつて靈妙な味が表現され、雪には詩がほしい。日暮れどきに詩ができた。これで三拍子揃って、十分な春を楽しもう。

正風流二代目 山内 正風